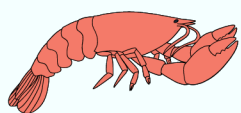
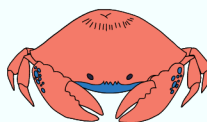


浦安市障がい者就労



支援センター通信



浦安市障がい者就労支援センター
(浦安市ワークステーション1F)

住所 279-0032 浦安市千鳥15-5

TEL 047-304-6200

FAX 047-304-6202

✉ urayasu-syurosien@roukyou.gr.jp

開館日 月曜日～金曜日(祝日を除く)

開館時間 午前9:00～午後5:30

<受託事業者>

労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団

9月とはいえまだ夏を思わせる暑い毎日です。皆様いかがお過ごしでしょうか。引き続き、水分補給や睡眠を十分に取るなどして、残暑を乗り切りましょう。さて今回は浦安市内にある村山鋼材株式会社さんをご紹介します。

どのような会社でしょうか？

浦安鉄鋼団地で鋼板(鉄の板)の加工を行う会社です。1952年の創業以来、コイルセンターのパイオニアとして業界をリードし続けています。本社は浦安市にあり、東京都大田区、西東京に営業所があります。現在、約100名の従業員が在籍しており、そのうち6名が障がいをお持ちの方々です。

内訳としては、浦安工場にて現場作業を担当している方が2名、管理部門にて営業事務の補助業務を担っている方が2名、そして工場・倉庫で清掃業務を担当しているパート勤務の方が2名となっております。それぞれが自身の能力を活かし、職場の一員として重要な役割を果たしてくださっています。



力を入れていることを教えてください

地域社会に貢献できる会社を目指し、障がい者の雇用に努めてきました。2022年に厚生労働省「もにす認定」を取得し、雇用だけではなく、定着後のキャリアアップにも力を注いでいます。また、浦安市内の小学校からの工場見学の受け入れ、中高大生の職場体験・インターンシップの受け入れも積極的に行い、次世代を担う若者たちに「働くことの意義」や「ものづくりの魅力」を伝える機会を創出しています。地域とのつながりを大切にしながら、誰もが安心して働ける職場づくりを目指し、多様な人材が活躍できる環境整備に取り組んでいます。



障がいのある従業員さんとの関りで大切にしていることを教えてください

障がいがあるからといって、他の方と何かが大きく変わるわけではありません。通勤手段・時間の調整や、就労時間などの調整は行いますが、待遇・評価、賞与などは一般社員と変わらない規定のもとお仕事を願っています。やりがいを持って働いていただけたことが、会社にとっても一番ありがたいことだと思っています。

就労を考えている方に、メッセージなどあればよろしくお願いします

現在弊社では欠員がないため求人募集はしていませんが、工場見学や職場体験の受け入れは随時行っております。浦安市内にお住まいの方でも、鉄鋼団地に足を踏み入れたことがない方も大勢いらっしゃると思いますので、ぜひ遊びに来てください。



会社のシンボルは
巨大なアフリカゾウ

『女性のライフステージとキャリア～「中年期」の変化に対応し、いきいきと働くために～』というキャリアコンサルタント研修に参加しました。研修内容と学びについて報告いたします。

職業人生が長期化・多様化する中、女性が生涯にわたっていきいきと働き続けるためにはどうしたらよいのか？特に「中年期」の女性の就業に着目し、学びを深めました。

- ・「ケア役割と仕事の両立」を考えた時、女性への家事・育児等の無償労働時間の偏り、それらの根底にある固定的な性別役割分担意識など、構造的な課題が存在する。
- ・「人生後半のライフキャリア再構築」では、年齢的な面のみならず、職責、家庭責任などを含めキャリアのあり方を見直す時期であり、体力の衰えの自覚や生涯の残された寿命や自分の強みや弱みを含めた能力についての限界感が出てくる。
- ・「更年期における就業継続」では、心身上の変化により、生活や仕事に悪影響が生じ、離職に繋がることもある。

女性のキャリアにおける悩みは、ライフステージの変化に伴って変わっていきます。最近では、共働き世帯が増え、結婚や出産を経て、子育てしながら仕事でも活躍する女性が増えています。男性の育休がある一方、家事や育児の負担が多いのはやはり女性の方で、ライフイベントの影響を受けやすいのは、昔も今も女性であることは変わっていません。

女性がライフステージにより、キャリア形成する上で大切なことは、女性特有の健康課題について、周囲の理解や職場環境の整備が必要であると感じました。また、どのような職業人生を送りたいのかを整理し、今後のライフプランを立てていくための自己理解を深めていかなければならないことが大切だと思いました。



浦安ちょっと豆知識 ～猫実（ねこざね）の地名の由来～

鎌倉時代、津波被害の後、豊受神社付近に堅固な堤防を築き、その上に松の木を植えて「根を越さね（根越さね）」と呼ばれました。時を経て「ねこざね」と音変化し、最終的に「猫実」という漢字が当てられるようになったとされています。

新型コロナウイルス感染症対策について



2023年5月8日より新型コロナ感染症法上の位置づけが5類に移行しました。



マスクの着用については個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断で着脱をお願いいたします。



咳エチケットの観点から、職員はマスクを着用するようにしております。



面談および講座の運営は、ソーシャルディスタンスを保ち実施しております。

よろしく
お願いします



支援センターまでのアクセス



アクセス

公共交通機関 舞浜駅南口より東京ベイシティバス20系統千鳥線（バス乗車10分）
舞浜行（千鳥循環）千鳥西行 クリーンセンター行 クリーンセンター下車 徒歩7分
※千鳥車庫行のバスはクリーンセンターバス停には停車しません。

